

## 【保土ヶ谷区】平成 30 年第 1 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 30 年 2 月 6 日 午後 4 時 ～ 午後 5 時 15 分
場 所	保土ヶ谷区役所本館 2 階 202 会議室
出席者	<p>【座 長】磯部 圭太 議員</p> <p>【議 員： 4 名】齊藤 伸一 議員、 坂井 太 議員、 森 敏明 議員、 北谷 まり 議員</p> <p>【保土ヶ谷区：28 名】菅井 忠彦 区長 齊藤 慶彦 副区長 南 有里 福祉保健センター長 出口 洋一 福祉保健センター担当部長 五十嵐吉光 福祉保健センター医務担当部長 永瀬 一典 保土ヶ谷土木事務所長 宮代 徹 保土ヶ谷消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度保土ヶ谷区編成予算案について</li> <li>2 平成29年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行状況について <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた区行動指針について</li> <li>2-2 保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画の推進支援の状況について</li> <li>2-3 保土ヶ谷区市民活動はぐくみ補助金について</li> <li>2-4 保土ヶ谷区緊急時情報システムについて</li> <li>2-5 いわゆる「ごみ屋敷」対策について</li> <li>2-6 空家対策について</li> <li>2-7 区民サービス向上とワークスタイル改革に向けた取組について</li> </ol> </li> </ol>

## 議題 1

### 平成 30 年度保土ヶ谷区編成予算案について

北谷議員：

感震ブレーカー設置補助金について、補助数及び額は。

小磯総務課長：

市の補助金の3年間の予算上の補助想定世帯数の平均が1.4%であったことから、対象世帯の1.5%である810世帯を想定している。また、補助額は市の補助金と同様、上限2,000円としている。

北谷議員：

地域防災拠点の研修会について、福祉避難所の対象者の選定・搬送等も含んでいるのか。

小磯総務課長：

地域防災拠点を開設・運営するにあたっての研修である。30年度は、実際に熊本の地震で地域防災拠点を運営していた方をお招きして研修を実施したい。福祉避難所については、地域防災拠点運営協議会において福祉避難所の位置づけ等について説明していきたい。

北谷議員：

福祉避難所のリストについては現時点では公表は困難と聞いているが、区として作成しているのか。

小磯総務課長：

リストについて今後ホームページで公表すると聞いている。

岩井高齢・障害支援課長：

今年度末までに、18区揃って公表する予定。

北谷議員：

協力員制度の進め方は。

吉富福祉保健課長：

発言の  
要旨

区民生委員児童委員協議会における委員会等でご理解をいただいたうえで、平成30年度からご希望のある民生委員1人につき1人配置する。

斉藤議員：

他都市で実施している例もあるが、任命方法や個人情報の取扱など民生委員との違いがある。どのようにクリアしていくのか。また、民生委員自体の欠員がある中、協力員は見つかるのか。

吉富福祉保健課長：

任命方法については首長による委嘱、守秘義務については委嘱時に宣誓書を書いてもらうことを考えている。なり手については、民生委員ほど時間に縛られない点から、働いている方でも手伝い程度ならできる方や、民生委員定年後の方などを想定している。

斉藤議員：

良い取組なのでぜひ頑張ってもらいたい。

斉藤議員：

感震ブレーカー補助金について、市の補助金の対象と区の補助金の対象はどうなっているのか。

小磯総務課長：

市の補助金の対象は約20,000世帯、区の補助金はそれ以外の約55,000世帯を対象としている。どちらかの補助金の対象となる。

坂井議員：

子育てアンケートの結果から、父親がもっと手伝うとよいとあるが、父親に対してどのようにアプローチするのかが明確であるとよい。

坂井議員：

がやっこキッズ学び育み事業について、すでに学習習慣のある子は対象外なのか。

近学校連携・こども担当課長：

対象外とはしていないが、本事業の主な対象は学習習慣が定着していない子である。

森議員：

花薫るきれいな街ほどがや事業について、花憲章制定後 20 年が経過しているが事業が形骸化しているのではないか。他都市の例では、地域で競って花を植えることにより空き巣が減少した例や、ごみが落ちてると自然と拾うようになりまちがきれいになった例なども聞く。保土ヶ谷区でのみ制定している花憲章は個性ある区づくりの目玉となりうる。花フェスタだけでなくもっと戦略的に事業を推進してほしい。

## **議題 2 - 1**

### **横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた区行動指針について**

北谷議員：

在宅医療・介護連携について、訪問看護師やケアマネージャーに話を聞くと現場は忙しく会議に出るのも大変と聞く。そのような中で、今後どのように多職種連携等を進めていくのか。

岩井高齢・障害支援課長：

代表者による会議や全体の方が集まる会議を実施している。また、医師会が設けた在宅医療相談室による研修会や情報発信を繰り返し実施することにより、必要な情報がスタッフに届くような仕組みにしたい。

北谷議員：

介護困難ケースについても負担が重いと聞く。区役所の対応はどうなっているのか。

岩井高齢・障害支援課長：

区役所と地域包括支援センターなどの関係者による地域ケア会議でカンファレンスを設け、個別の支援の方針の足並みを揃えてそれぞれの役割分担を果たしていく。また、認知症の場合は認知症初期集中支援チームも一緒に関わることにより、困っている方がそのまま地域にいないことのないよう対応する。

北谷議員：

地域包括支援センターや住民任せにならないよう対応してほしい。

**議題 2-2**

**保土ケ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画の推進支援の状況について**

質疑等なし

**議題 2-3**

**保土ケ谷区市民活動はぐくみ補助金について**

質疑等なし

**議題 2-4**

**保土ケ谷区緊急時情報システムについて**

斉藤議員：

携帯電話やスマートフォンでも対応可能か。

小磯総務課長：

対応可能。

斉藤議員：

返答の活用を考えているか。

小磯総務課長：

返答のない方あての更なる対応へつながるものと考えている。

**議題 2-5**

**いわゆる「ごみ屋敷」対策について**

質疑等なし

**議題 2-6**

**空家対策について**

質疑等なし

	<p><b>議題 2-7</b></p> <p><b>区民サービス向上とワークスタイル改革に向けた取組について</b></p> <p>北谷議員：</p> <p>納付相談から生活困窮者支援につなげることもあると思うが、対象者にとっては区役所の敷居が高い面もあるので丁寧な対応をしてほしい。また、SOSを出している方には適切な支援の提案をお願いしたい。頼り甲斐のある行政という意識が納付意欲の向上につながると思うが、区長の見解をお聞きしたい。</p> <p>菅井区長：</p> <p>そうありたいと思っている。そうなるために丁寧に業務を遂行したい。</p>
<p>備 考</p>	